

(第 134 回) 神奈川研究会議事メモ

開催日	2022 年 10 月 11 日 (火)	出席者 敬称略	山崎博・松村眞・持田典秋・猪股勲・ 宮本公明・神田稔久
時間	13:45~15:05		
場所	ロボテラス		

資料

議題

1. 見学先

公益財団法人 湘南産業振興財団 ロボテラス

生活支援ロボットの展示ショールーム

2013 年 相模原市・藤沢市などがさがみロボット産業特区に指定される。

2014 年 ロボテラスが開設される。

2018 年 ロボテラスがリニューアルされる。

現在、80 種類以上のロボットが展示されている。



2. 見学と体験

① フレイルの診断と予防の運動



体のバランスを診断中です。



画像を見ながらゲーム感覚で体操。

② 介護支援装着具



用具を装着して、20 kgの重さのものを持ち上げ、身体への負担軽減を体感。

③ 移動支援ロボット



坂道で自動的にアクセルとブレーキが働く歩行用具をテスト。転倒時に自動的に音声を発するものやGPS機能付きもある。

④ ヒーリング・エデュケーショナルロボット

参加者からのコメント

- ① マッスルスーツは頻繁に重量物を持ち上げる職場で実用性が高いと思った(流通センター、介護施設、製造業の工場など)
- ② 体のバランス診断や体操は、面白く見せるのが目的だろうが実用性は疑問。
- ③ 介護支援用具は近い将来に世話になる可能性があると思ったが、それぞれの使用場所と用途を具体的に想像しにくく戸惑った。もっとニーズと結びつけた説明があるとアピールしやすいのではないか。たとえば在宅介護用か介護施設用か、在宅用なら宅内移動用か外出用など。(松村)

マッスルスーツには興味があったが、あいにく先週ギックリ腰をやったばかりなので遠慮しました。ちょっと残念。

介護支援装置を作るメーカーを集めて財団法人を作り、ひとの集まる湘南辻堂駅前のモールの隣に展示場を作ったのはなかなかのアイデアだった。ただ、モールにはわりとちよくちよく来ていたが、このような展示施設があることは知らなかったので、PR不足の感がいなめない。介護用品などは、今後の高齢化社会では成長産業でもあるので、メーカーの説明員を呼ぶなどのプロモーションもやっていいのではないかと思った。(宮本)

隣に住んでいながら「さがみロボット産業特区」という存在を初めて知った。調べてみると、全国に国際戦略総合特区が7地区、地域活性総合特区41地区が指定されている。一方で、かなりの地区が使命を終えて指定解除を受けている。特区なるもののPRやその成果の公表などに課題があるようである。

生活支援ロボットは、現在も、そして今後はますます必要とされるものであり、もっと知られ、利用されるための、関係者の努力が必要と感じた。

展示ショールームで実際に体験してみると、いざ必要となった時に、自分に満足度の高いものを選択するための基準のようなものが出来たような気がした。神奈川研究会のみならず SCE・Net 会員総てに体験して欲しい施設でもある。(神田)

ロボテラスの生活支援ロボットの展示ショールームが、どれほどの物なのかなと、若干懐疑的に思いながら、参加しましたが、大変興味深く過ごせました。介護の必要になった時に役立つ各種のロボットについては、いくつかの医学関係の展示会に出席して話を聞いたこともあったので、全く新しいものに驚くような事はなかったが、介護支援が必要になった時に実際に使える物として、実物を手に取ったり、試して見られた事は大変面白かった。加えて、これは、このぐらいの価格ですと言った説明も現実味があって、身近なものに感じられました。もっと広く知られても良い施設だと思いました。(猪股)

介護支援装着具は、うまく使うにはコツが必要で、使い方が間違っていたのか負担軽減が実感できなかった。この種のロボットはそれなりに慣れが必要でした。坂道で自動的にアクセルとブレーキが働く歩行用具は、確かに坂道での歩行に便利で役に立ちそうだ。値段が数十万円するそうで、電動アシスト自転車のように十万円程度で買えるようになれば良いと思った。癒し系のロボットは体感できなかったが、独居老人がこれから増えてくると、聞けば優しく答え、簡単なアシストと対話でペットのように精神的に癒してくれるロボットも更に進化して欲しい。今回見学したのはロボットのうちのごく一部だと思うが、様々な先端ロボットを体感できる施設が今後も増えていくことを望む。(山崎)

以前から相模産業ロボット特区で様々なロボットが研究開発されていることを知っていたので、一度訪れてみたいと思っていた。
春の見学会の見学先として提案したが、今回取り上げてもらい見学できたことは良かったと思っている。
この展示場では介護が主体であって、我々も遠からずお世話になるかもしれない数々のロボットが展示されており、実際いくつか使ってみたり、試着して威力を確かめたが、介護支援装着具などやはりはじめての試着ではなかなか力を発揮できないように感じた。慣れてくると、こちらの体の使い方なども進化し、もっと軽々と持ち上げられるようになるのではないだろうか。
いずれにしてもこのような研究・開発は、困っている人たちにとって光明となるので、もっと国や県が力を入れてほしい。(持田)

	<p>2. 今後の予定</p> <p>11月 飯塚氏</p> <p>12月 持田氏</p> <p>1月 山崎氏</p> <p>2月 猪股氏</p> <p>3月 西村氏</p> <p>4月 宮本氏</p> <p>5月 見学会</p> <p>6月 大谷氏</p> <p>7月 松村氏</p> <p>8月 神田氏</p> <p>9月 飯塚氏</p> <p>10月 見学会</p>
<p>次回日程</p>	<p>1. 日時 令和4年11月8日(火) 15時~17時</p> <p>2. 方式 オンライン会議</p> <p>3. 技術課題 飯塚氏から提供</p>
<p>次々回日程</p>	<p>1. 日時 令和4年12月13日(火) 15時~17時</p> <p>2. 会場・方式 未定</p> <p>3. 技術課題 持田氏から提供</p>